

人形感謝代行サービス 第16回感謝祭を斎行

(一社) 日本人形協会

十月二十二日(木)、一般社団法人日本人形協会は東京都千代田区の東京大神宮において、人形感謝代行サービス第16回感謝祭を行った。同協会からは、金林健史会長をはじめ、山田徳兵衛専務理事、駒田健治事務局長の三人が参加。また、人形感謝代行サービスの事務局の伊藤友紀代表、(株)JPMメディアダイレクトの高橋春彦氏、旭化成ホームズの藤川無学氏、(株)ポパルの西川永祐氏の四名が出席した。祭典は拝殿にて執り行われた。



東京大神宮

修祓、齋主一拝、祝詞奏上に続き、雅楽の調べに合わせて巫女が「豊栄舞」を奉納。参加全員が玉串を奉奠し、齋主一拝、齋主挨拶で御祈禱を終えた。終了後は毎回、申込者全員に、人形供養が完了したことを知らせるハガキが郵送されている。同サービスは、同協会と日本郵便(株)が提携して実施している事業。今年の件数は3959件。平成17(2005)年に初回を実施した際、依頼件数は220件だったが、15年で依頼件数は約20倍となった。ハウスメーカー各社の協力により、住宅購入者向け会報誌にも情報を提供しており、事業として定着している。



巫女が「豊栄舞」を奉納